

伊豆シャボテンリゾート 株式会社

2026年3月期
決算説明資料



2026年3月期実績

単位：百万円

	2026年3月期	2025年3月期	前年同期比
売上高	5,591	5,489	+1.9%
営業利益	1,167	1,191	-2.0%
経常利益	1,211	1,245	-2.7%
当期純利益	839	906	-7.4%

シャボテン動物公園の入園者数が堅調に推移したため売上高は増加したものの、物価上昇を背景とする各コストの増加を吸収しきれずに利益が減少することとなりました。

各事業の説明

【レジャー事業】

- 売上高は継続的な成長基調を維持しているものの、物価上昇および人件費増加の影響を受け、営業利益は前年度比で減少いたしました。今後の収益性維持に向けては、コスト増加分を適切に価格へ転嫁していく必要性を認識しており、その具体的な施策について検討を開始しております。

【アニタッチ事業】

- 当年度において新規出店を実現できなかったことから、結果として事業成長が鈍化する状況となりました。その主因として、事業特性に適した規模の物件確保が困難であった点が挙げられます。これを踏まえ、現在は従来より小規模な出店形態による事業展開および収益性の確保について検討を進めております。

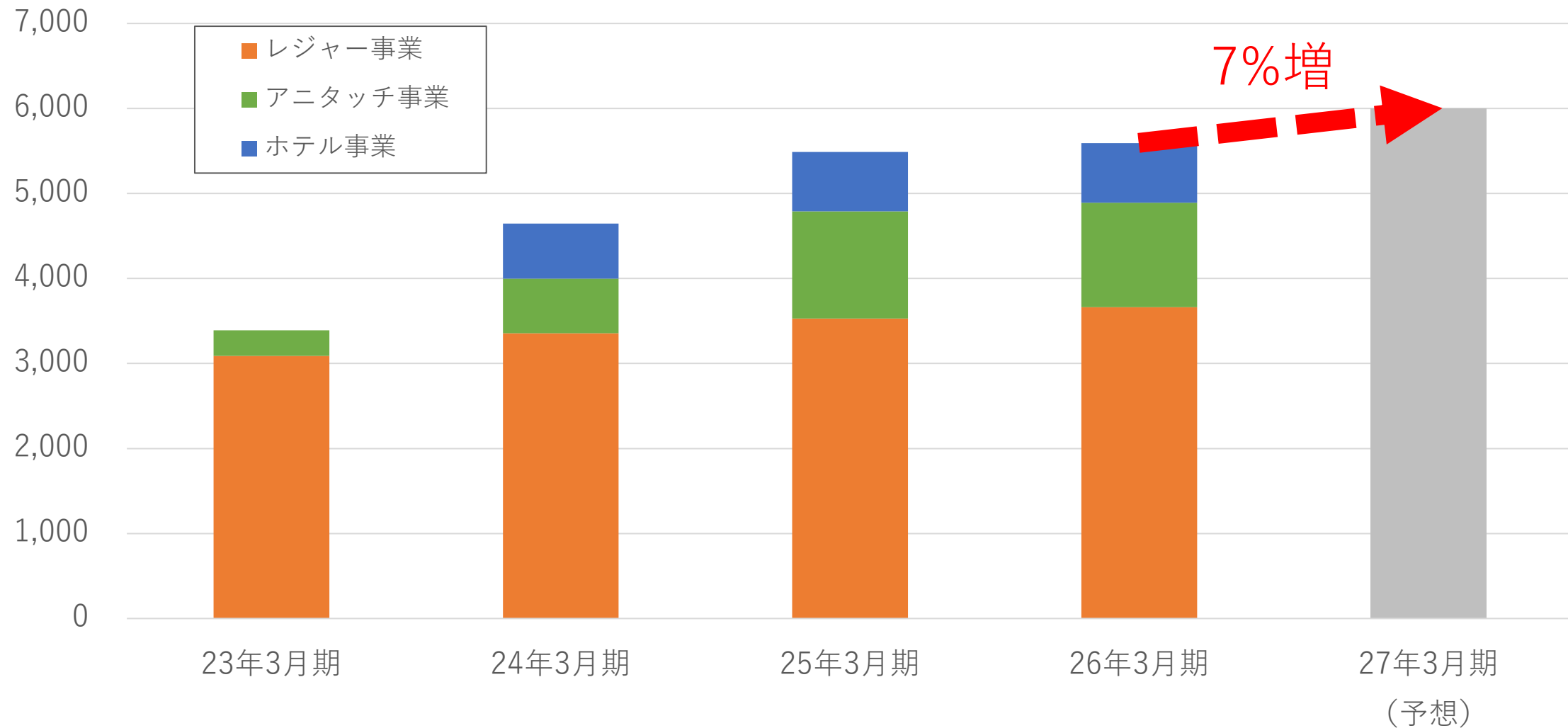
【ホテル事業】

- 一部施設において客室増設工事に伴う営業停止期間が発生したものの、宿泊者数は前年を上回る結果となりました。今後も高価格帯客室の拡充を継続的に推進するとともに、近年増加傾向にあるペット同伴宿泊ニーズへの対応を目的として、グランピング施設の機能拡充および関連サービスの強化について検討を進めております。

【売上高推移】

(2023年3月期～2026年3月期) * 27年3月期予想含む

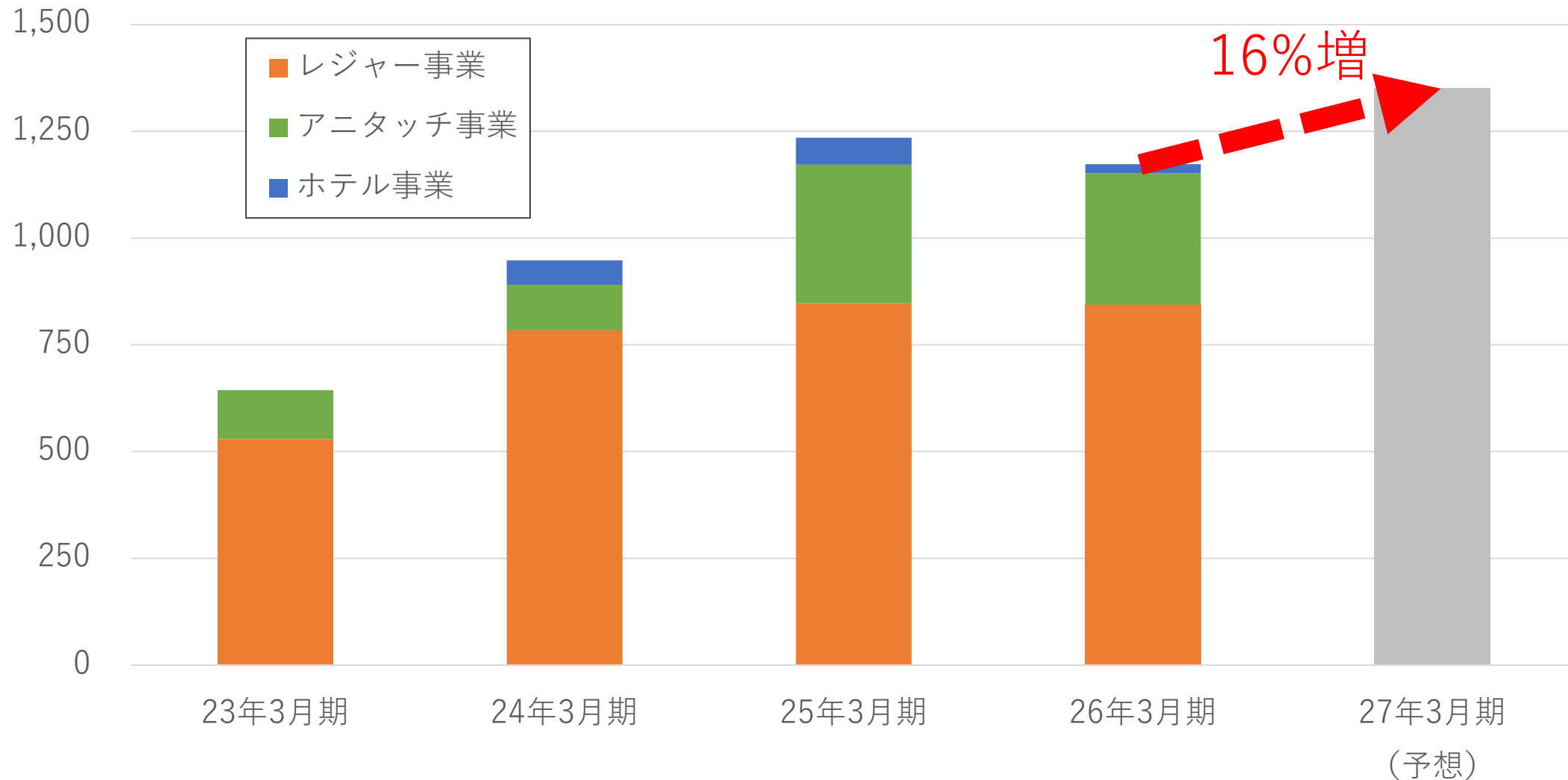
単位：百万円



【セグメント利益推移】

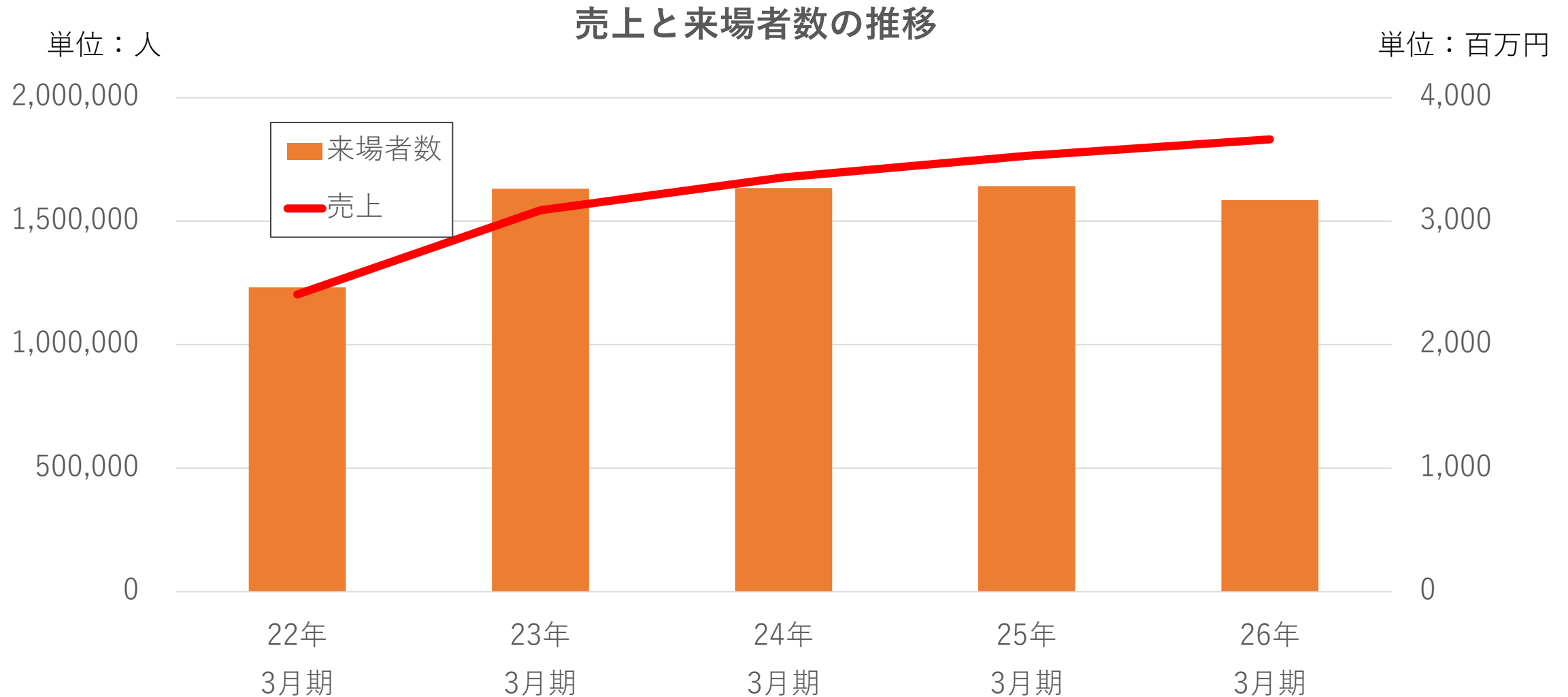
(2023年3月期～2026年3月期) * 27年3月期予想含む

単位：百万円



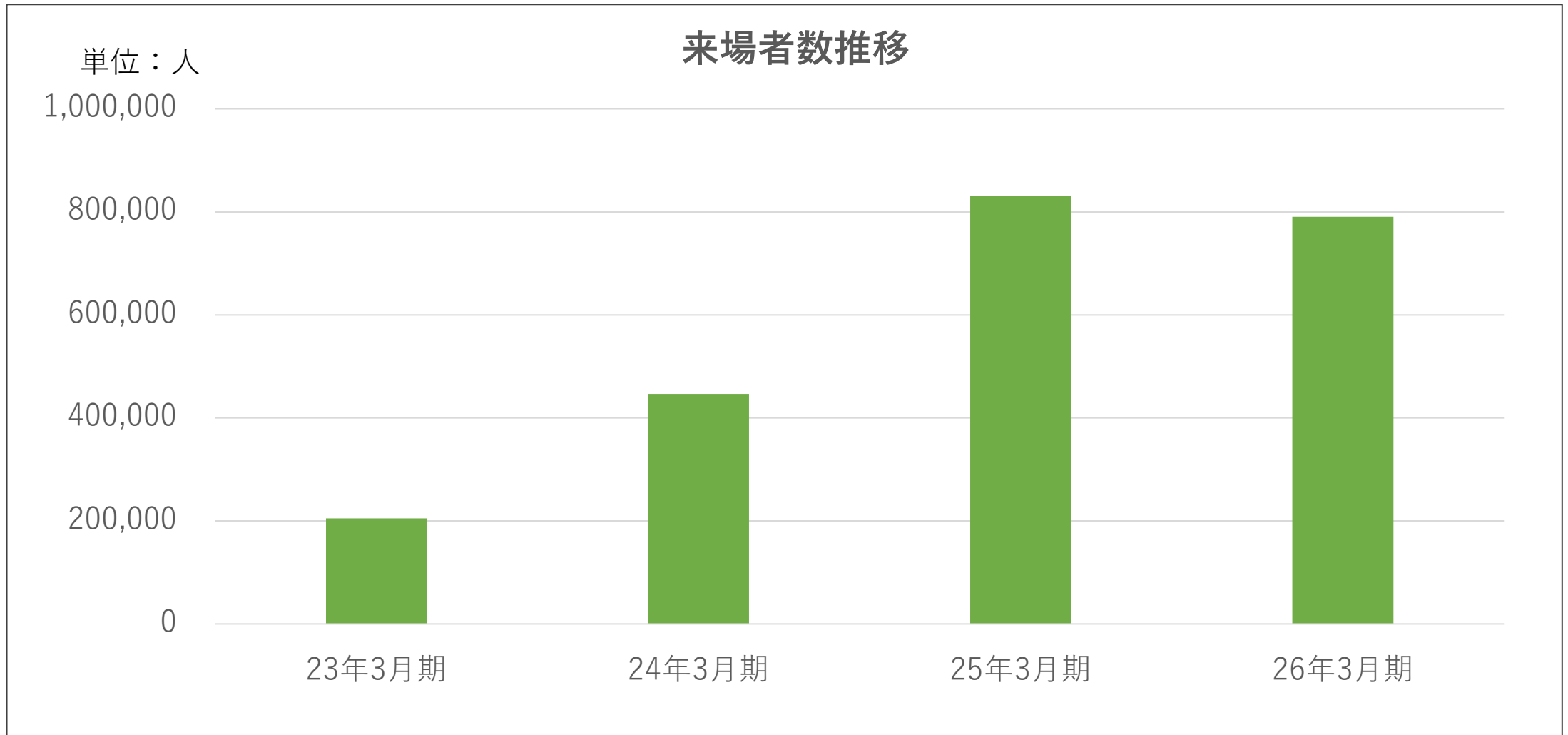
【レジヤ事業】

来場者数は、昨年度比で**3.4%**低下したが、客単価が上がったことで、売上は**3.8%**増加し継続的成長を維持



【アニタッチ事業】

26年3月期は新規店舗の出店が適わず、来場者数（全体）が5%減少する結果となったが、27年3月期は積極的に出店を行う予定

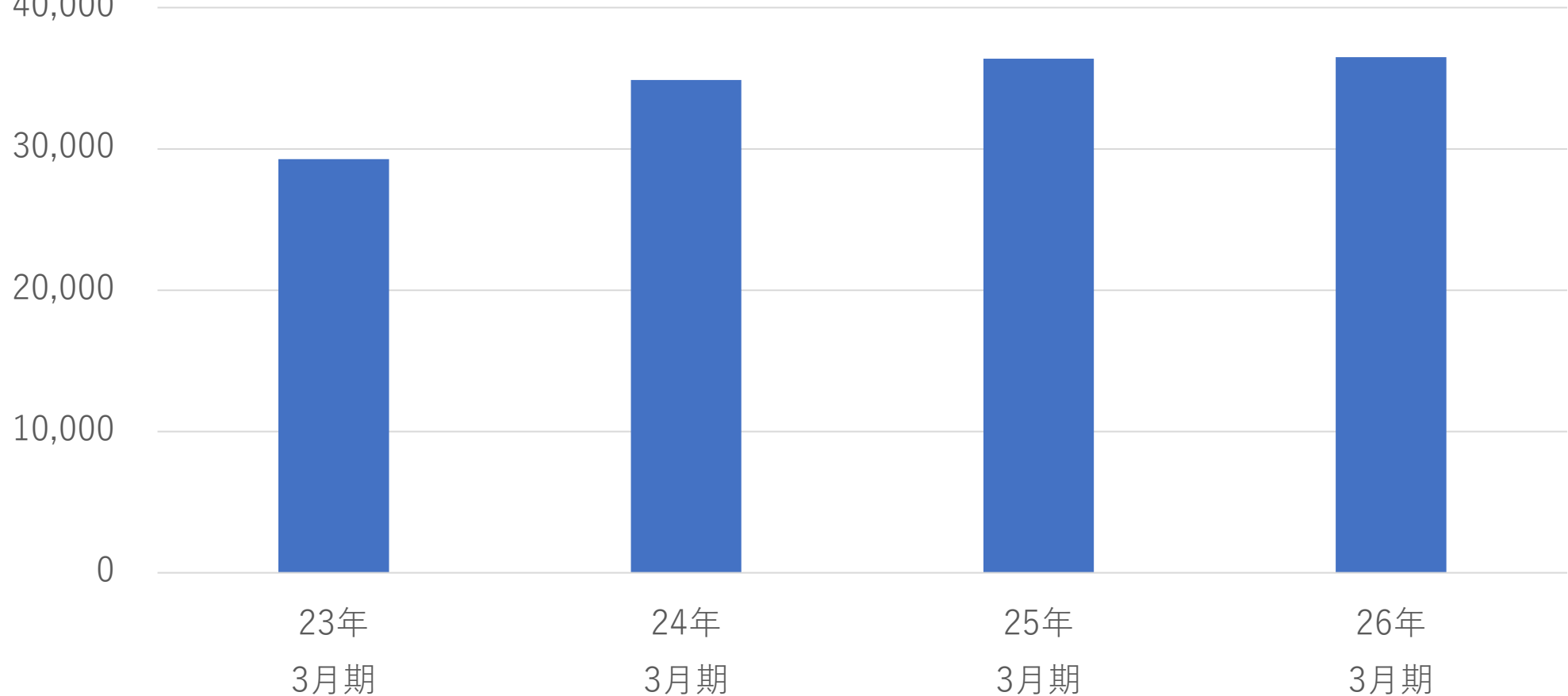


【ホテル事業】

ホテルの客室を増設し、宿泊客数が過去最高を記録。更なる需要に応えるべく、客室の更なる増設を予定

宿泊者数推移

単位：人
40,000



免責事項

- 本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。
- これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確定性をふくむものです。当社としてのその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれらの将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料は当社の情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。当社の有価証券への投資判断は、ご自身の判断で行うよう、お願いいたします。